

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

国語では、どの設問でも全国平均を上回る高い正答率でした。また、無解答率も全国平均よりも低くなっています。どの授業でも自分の考えを書く時間を確保したことで、あきらめずに取り組もうとする意欲が向上したのではないかと考えます。

算数では「思考・判断・表現力」を求められる問題で全国平均を上回っていました。無解答率も全国平均よりも低くなっています。

質問紙調査の結果から、「話し合う活動を通して、考えを深めたり広げたりできていますか」の設問では、肯定的な回答をした児童が全国平均と比べて6.5ポイント多いことがわかりました。また、「国語の勉強が好きですか」「目的に応じて、自分の考えを話したり質問したりしていますか」といった国語や話し合いに関する設問の多くで、肯定的な回答が全国を上回っていました。本校では、「聴くこと」を大切にされた指導を継続してきました。それらの活動を通じて培われた力が結果に表れてきたものと思われま

課題と対応

国語では本文に書いてあることを読み取った後、複数の条件に合わせて文章にまとめることに課題が見られました。授業の中で自分の考えをまとめ、文章にする活動や話し合う活動をより充実させていきたいと考えます。

算数では記述式の問題で正答率が低く、無解答率が高くなっていました。そこで、普段の授業から短答式だけでなく、説明を求めたり、解答に必要な情報を選択して問題を解く練習をしたりしていきたいと考えます。

質問紙調査の結果から、「1日あたりどれくらいの時間、勉強していますか（月曜日～金曜日）」の設問では、「3時間以上」と回答した児童が全国平均と比べて多いことがわかりました。一方、「1時間より少ない」と回答した児童が全国平均と比べて高いことがわかりました。家庭学習での目標時間（学年×10分）を意識して宿題の内容を精選するとともに、自分の課題を見つけて自ら解決できるように自主学習の効果的な活用を進めていきたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

「毎日同じくらいの時刻に寝起きしているか」の設問に対し、「している」と回答をした児童が80%よりも高く、「学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていたか」の設問に対しても、肯定的な回答が全国平均を上回っていることから、家庭での規則正しい生活習慣が身に付いていることがわかります。今後は、自主学習など宿題以外の学習について、学校でも児童に声掛けをしていきますので、家庭でも学習習慣が定着するよう励ましの声をかけたり、帰宅後の過ごし方について話題にしたりして、見直しをする機会をつくっていただきたいと思います。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	文の構成について理解している。
	社会	地図から情報を読み取ったり、土地利用の様子を判断したりできている。
	算数	基本的な計算方法や図形の性質を理解している。
	理科	目的に合わせた回路を組むことができる。
	学習状況	学習した内容をよりくわしく調べてみたいを感じている。
第5学年	国語	段落相互の関係や、前後の文脈に着目しながら、必要な情報を読み取ることができている。
	社会	地図の見方について理解している。
	算数	計算のきまりや折れ線グラフを理解している。
	理科	虫めがねの使い方を身に付けている。
	学習状況	授業の内容がよく分かり、発表もでき、学校が楽しいと感じている。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	目的や必要に応じて書くことに課題がある。	国語においては、出前授業等の講師の先生や交流のある他学年へのお礼やお願いの手紙を書いたり、自分の調べたことを人に伝える文章を書いたりする活動を授業内容と関連させながら計画的に取り入れることで、生活の中で必要感を感じながら「書く」経験を積み重ねていく。社会においては、問われている部分などの資料とつながっているのか視覚的・構造的に読み取ることができるよう、囲んだり線でつないだりして読み取るようにさせる。算数においては、普段の授業から操作活動や説明を行い、知識だけでなく、概念として身に付けられるようにする。また、補充問題にも取り組む。理科においては、実際にキャベツ畑で成虫や卵を観察するなどの体験活動と学習を結び付けて指導しながら、繰り返し学習することで知識の定着を図る。学習状況については、自己肯定感を高めるために具体的によいところを認め、やって良かった、頑張ってたかったと感じられるようにする。
	社会	複数の資料から情報を読み取ることに課題がある。	
	算数	表やグラフの読み取り、単位変換に課題がある。	
	理科	花の咲いていないキャベツ畑に成虫が来る理由を説明することに課題がある。	
	学習状況	先生にもっと自分のよいところを認めてもらいたいと思う様子が見られる。	
第5学年	国語	読み手や聞き手に分かりやすい書き方や話し方を考えることに課題がある。	国語においては、各教科でリーフレットや新聞づくりなどの活動を行う際に、「見出し、小見出し」「事実と意見」「文章構成」「図や表の活用」といった内容について意識して取り組めるように指導したり、完成した作品や児童の発表について全体で吟味する機会を設け、工夫や良さを共有したりすることを積み重ねることで、聞き手や読み手を意識し、より伝わりやすい書き方や話し方を身に付けさせていく。社会においては、プリントなどで復習する時間を設けたり、自分で文にまとめる機会を多く設けたりするようにする。算数においては、普段の授業から操作活動や説明を行い、知識だけでなく、概念として身に付けられるようにする。また、補充問題にも取り組む。理科においては、実験などの体験活動を大切に学習を進めていく。学習状況については、自主学習の内容や時間をクラスで話し合い、より充実した取組にしていくとともに、保護者にも取組について知らせていく。
	社会	旭川の名称と位置の理解や全般的に表現（記述）する問題に課題がある。	
	算数	長さ、変わり方、割合のきまりを見つけ、活用して計算することに課題がある。	
	理科	空気と水は温められたときに体積が大きくなるが、その程度に違いがあることを理解することに課題がある。	
	学習状況	家で、自分で計画を立てて勉強することに課題が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

岡山市の平日の家庭学習の平均時間は1時間以上2時間より少ない児童が一番多く、本校の場合は30分以上1時間未満の児童が一番多いことがわかりました。特に4年児童の50.1%、5年児童の47.3%の家庭学習の時間が1時間未満となっていることがわかりました。また、家で計画を立てて学習している児童も少ない状況です。自主学習など宿題以外の学習について学校でも児童に声掛けをしていきますので、ご家庭でもご協力ください。